

報道関係各位

北海道北見市留辺蘂町松山 1-4  
北の大地の水族館(山の水族館)  
館長 山内創

---

日本最大の淡水魚イトウが見せる命の営み  
**食育プログラム「いただきますライブ」再開**  
～「いただきます」の意味を考える、生きた命の教育展示～

---

北の大地の水族館(山の水族館)では、2026年6月9日(火)より、館内「イトウの大水槽」において、食育・環境教育プログラム「いただきますライブ」を再開いたします。

本プログラムは、日本最大の淡水魚であるイトウが、生きた魚を捕食する様子を来館者にご覧いただく展示です。生き物たちが命をつなぐために行う「捕食」という自然界の日常を通して、私たち人間もまた他の命をいただいて生きていることを考える機会を提供します。

2012年の開始以来、多くの報道機関に取り上げられ、毎年再開を楽しみにされる来館者も多い当館を代表するプログラムの一つです。

私たちヒトを含め、多くの生き物は生きるために他者の命をいただくことは避けられません。しかし現代社会において、目の前の食材が食卓に並ぶまでの過程を見る機会や考える機会は少なくなっています。

北海道を代表とする大魚イトウが、「いただきます」という言葉の代わりに、持てる力を最大限に使って餌となる他者を襲う姿は、動かない餌を食べることに慣れた生物からは感じることでできない命の力強さを見せてくれます。

「いただきますライブ」では、イトウが持つ本来の捕食行動を観察していただくとともに、飼育展示係による解説を通じて、生き物同士のつながりや命の循環について考えていただきたいと思っています。

## 開催概要

- 再開日時：2026年6月9日(火) 14:30～(所要時間 10～15分)
- 場 所：館内「イトウの大水槽」
- 定期開催：毎週 火・木・土曜日 14:30～(所要時間 10～15分)

※ 本プログラムでは生きたニジマスを餌として与えます。

- ※ 展示生体の都合により中止または休止する場合がございます。
- ※ 館内でのプログラムのため、参加には入館料が必要となります。

## 再開の経緯

イトウの大水槽へ地下水を主として給水していることから起こる冬季の水温低下や繁殖期に伴う摂餌欲求の低下といった生体の生理的要因から冬～春季は例年休止しておりましたが、生体の健康状態及び摂餌欲求の回復が確認されたため再開いたします。

## イトウについて



イトウは日本最大の淡水魚で、環境省レッドリスト絶滅危惧 I B 類に指定されています。当館では良好な自然環境と適切な保護保全活動により安定的な個体群が維持されている北海道幌加内町の朱鞠内湖より、朱鞠内湖淡水漁業協同組合様ご協力の下、現在約 70～110 cm のイトウ計 8 匹を大水槽にて飼育・展示しています。

## 取材に関するご案内

- ・強い照明の使用はご遠慮いただくか、当日ご相談ください。
- ・映像・写真の提供は可能ですので、随時ご相談ください。

## お問い合わせ

TEL : 0157-45-2223

MAIL : info-aq@michi-on.com

担当: 山内創/山本直和

以上